

令和5年度
第2回中央公民館運営審議会

鶴岡市中央公民館 プラネタリウム事業の概要について



令和6年3月13日

100 プラネタリウム
100周年

0

施設の概要

- 開館／昭和59年7月（視聴覚センターの一部）
- 工事費（館全体）／12億2千7百万円
- ドーム直径／10m（水平型）
- 座席数／78席（扇型）
- プラネタリウム機種／コニカミノルタプラネタリウム(株)MS-10
- プラネタリウム数／県内6館、庄内地方唯一
- 投影／一般公開・団体投影
- 番組／デジタル番組（賃貸借）、自主制作番組
- 観覧料／大人（高校生以上）200円・子供（3歳以上）100円

1

運営体制

◎職員体制

- ・正職員1名（兼務）・・・事業計画全般、契約関係、LINE予約
- ・社会教育指導員2名（専任）・・・番組制作、投映、ポスター・チラシ作成
公民館主催事業の補助業務
- ・パート事務員1名（兼務）・・・投映補助、観覧料収納、チラシ印刷・配布

◎投影時の体制

- ・通常投影：投影者、補助者、受付の3名体制
- ・団体投影：主に3人体制、2団体が同時に観覧の時は受付が2名になり
4名体制

2

プラネタリウム事業（一般公開）

◎一般公開

- ・学校の長期休みやGW、お盆休み等に合わせ、子供向け人気キャラクターを取入れたデジタル番組を投映。合わせて大人向け番組も投映。
- ・七夕とクリスマスに合わせ、子ども向けの自主制作番組を投映。
- ・11月には全国的イベントである熟睡プラネに参加し大人向け自主制作番組を投映。
- ・その他、平日等の臨時公開実施

3

プラネタリウム事業(団体投影)

◎団体投影

- ・七夕とクリスマス番組は、庄内一円の幼保育所に案内し団体投影。
- ・小学校の理科の授業の一環として天文移動教室を実施。
- ・10名以上の団体からの希望により、デジタル番組を上映。

◎観覧料免除

- ・市内小・中学校・特別支援学校(小学部、中学部)の児童生徒が教育課程に基づく教育活動として教職員に引率されて観覧する場合全額免除。

4

プラネタリウム投影番組

◎デジタル番組(令和5年度貸借) 星座解説付き

- ①「妖怪ウォッチ♪ コマさんからのSOS! ブラックホールへレッツゴーだニャン♪」
- ②「ワンピース プラネタリウム」
- ③「平原綾香 いのちの星の詩 SPECIAL EDITION」
- ④「アースシンフォニー 光と水が奏でる空の物語」

◎自主制作番組

- ①七夕番組(幼児向け)
- ②天文移動教室(小学校4年生、6年生)
- ③熟睡プラネタリウム(大人向け)
- ④クリスマス番組(幼児向け)



5

プラネタリウム投影スケジュール(R5年度)

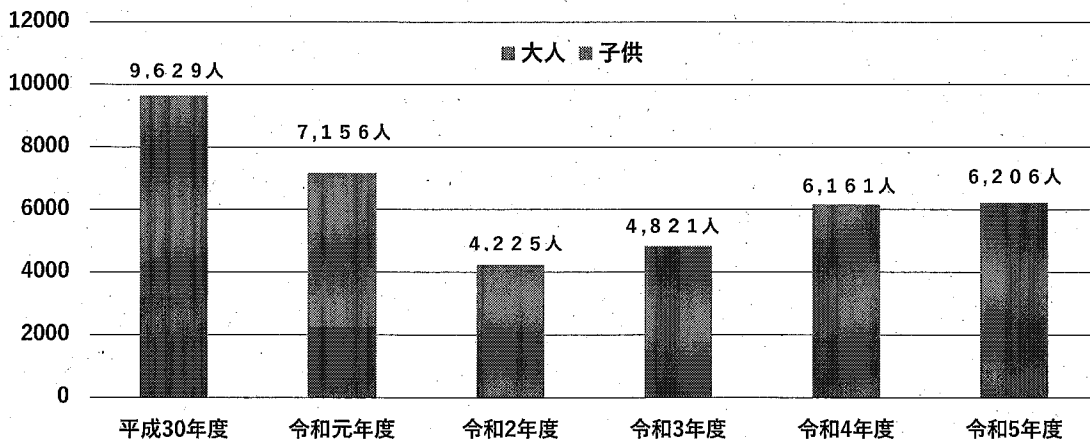
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
一般公開		★ 春	★ 平日七夕	★ スペシャル	★ 夏		★ 秋	★ 熟睡	★ Xmas	★ 冬		★ ひな祭り
団体投影			七夕			天文移動教室			Xmas			
保守管理等				7/24投影機保守点検					12/22音響保守点検			2/2投影機保守点検

★ デジタル番組

★ 自主制作番組

6

プラネタリウム観覧者数の推移



9

団体投影の状況(令和5年度)

・七夕番組 (6~7月)

鶴岡市内 30園 773人
 庄内地域 13園 316人
 ※一般公開は2日間で295人

・クリスマス番組 (12月)

鶴岡市内 12園 432人
 庄内地域 5園 109人
 ※一般公開は3日間で517人

・天文移動教室 (8~10月)

鶴岡市内小学校 (無料)
 4年生 25校 920人
 6年生 10校 395人
 庄内地域小学校 (有料)
 4年生 15校 511人
 6年生 2校 32人
 合計 40校 1,858人

10

熟睡プラ寝たリウム概要 (令和5年度)

★全国各地の64のプラネタリウム施設で実施

★日本プラ寝たリウム学会」で毎年勤労感謝の日に全国のプラネタリウム施設に呼びかけ「全国一斉『熟睡』プラ寝たリウム」を開催
 実施期日 11月10日(金)・11日(土) 【実施日は施設で調整可】

- ・ **内容** 音楽を聴きながら星空を眺め快眠へと誘うプラネタリウム
- ・ **工夫** ブランケットや枕の持ち込みOK、アロマの香りと満点の星々、BGMだけの星空観賞、ちょっと長めの50分番組
- ・ **観覧人数** 71人



11

市公式LINEを使ったプラネタリウム予約開始

- ▶ 鶴岡市公式LINEを活用し、中央公民館のプラネタリウムの予約をデジタル化。
- ▶ 令和4年度から準備を進め、令和5年8月のプラネタリウムより市民向けに運用開始。

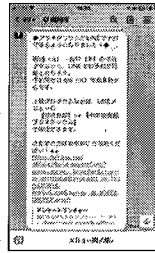
- (利用者)
- ・ 開庁時間内に電話予約
 - ・ 空き状況など電話での問い合わせ必要



- (市)
- ・ 電話回線のひっ迫
 - ・ 電話対応職員の業務負担



デジタル化



LINEリッチメニュー
「公共施設」
または
チラシのQRコードから
予約画面起動



受付は24時間
空き状況もリアルタイムに確認可能
電話予約も併用
(全年代・他市町向けに配慮)

- 24時間365日自分の都合のよいタイミングでの予約が可能、空き状況もリアルタイムで確認でき、利便性が向上
- 総予約530件中、LINE予約472件(89%)【R5.8月～R6.1月】

12

施設・運営面での課題

◎施設設備の老朽化

- ・ ドーム外壁の雨漏り
- ・ プラネ室空調の能力不足
- ・ 椅子の不具合(幅、リクライニングバネ)

◎提供番組の在り方

- ・ デジタル番組の費用
- ・ 団体投影時の個別要望への対応

◎運営体制の脆弱さ

- ・ 職員1名(兼務)、指導員2名(専任・1年更新)、事務員1名(兼務・1年更新)

◎大人番組の入場者拡大

- ・ 周知方法の工夫
- ・ 投影時間の設定

13